

週報

2011.7～2012.6

国際ロータリー第2730地区 佐土原ロータリークラブ 第1204回 平成24年3月27日(水)

2011～2012年度
ロータリーテーマ



本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「我らの生業」
3. 四つのテスト
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 出席報告
7. 委員会報告式
8. 入会式
9. 次週例会の案内「SAA」
10. 点 鐘

2730地区ガバナー 長峯 基
中部分区ガバナー補佐 林 務
RT会長テーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

2730地区テーマ
「善いことをしよう」

佐土原テーマ
「クラブ会員の絆を より深めよう」

3月のテーマ
「識字率向上月間」

3月度の例会予定

- 3月7日(水)・・・「1201回」ロータリー情報
「ロータリー情報委員長」
3月のセレモニー・理事会
- 3月14日(水)・・・「1202回」委員会討議「各委員会」
- 3月21日(水)・・・「1203回」会員卓話「山本 兼裕君」
- 3月28日(水)・・・「1204回」入会式 その他

会長：荒武 義博
副会長：村上 實
幹事：永野 陽子
委員：藤堂 孝一
計：梶田與之助
事務局：吉野由里子
宮崎市佐土原町下田島 11703-18
TEL：0985-62-7833
FAX：0985-62-7877
例会日：毎週水曜日
例会場：石崎の杜「欲鯨館」
TEL：0985-62-7757

第1203回の記録

会長の時間

平成24年3月21日

< 荒武 義博 会長 >

3月21日 第1203回の例会

今日は、本日は山本会員の卓話、村上会長エレクトのPETS(ペッツ)の報告もありますので短めにと考えています。

報告ですが、佐土原ロータリークラブ、宮崎オーシャンライオンズクラブ、佐土原町商工会の3団体に昨年末桜の木を寄贈したことにに対し本日、11時からこの欲鯨館の正面玄関で、戸敷市長来館で感謝状の授与式がありました。既に、桜の開花が見られます。皆さんも帰りに見てください。将来は、ここでお花見が出来るようになることと思います。

私事で恐縮ですが、我が家の次男坊が、全国選抜高校テニス大会(博多の森運動公園)に初出場しますので、今日から応援に行く予定にしています。「目標はベスト8」他にも、この時期は高校生の大会がいろいろと開催されていますが、何故か新聞、テレビ等メディアは甲子園球児の報道が満載。国民の関心度の違いからしょうがないですね。・・・・・・?

話は変わりますが、昨日テレビを見てましたら衛星放送開発研究の番組がありまして、今では簡単に自宅で衛星放送を見られますが、実は1984年の直接衛星放送開始と、この実現に向けた研究開発に対して日本放送協会が「IEEE マイルストーン」に2011年に認定されました。この衛星放送によって、離島など、テレビ受信が出来なかった地域でもリアルタイムにテレビ放送が見られるようになった。実に1965年(昭和40年)当時の前田NHK会長が記者会見で表明してから20年近い歳月を必要とした。これによって難視聴地域問題は放送開始以来約50年で解消された。

そもそも衛星放送受信の構想は、1945年にイギリスの空想科学小説家のアーサー・クラークが考案したアイデアらしいです。マイルストーンに認定された主な研究開発は、大半がアメリカで日本では、静岡大学、KDDI、東芝、日本ビクター、シャープ、JR東海、気象庁などがあります。考案、発明は外国が多いが、実用化



するのは、日本の得意とする分野ですね。国民性ですかね
本日は、もう1つとってもうれしい報告が後で、「太田選考委員長」からあると思います。

幹事報告

< 幹事 永野 陽子 君 >

< 文書案内 >

- ※盛岡西北ロータリークラブ～「ソーラー外灯設置支援ご協力」のお願い
- ※米山記念奨学会～賛助会ご入会のお願い
春季例祭のご案内・米山奨学会への寄付金について(お願い)



委員会報告

○親睦委員長代理 吉田 康一郎君

- ※4月6日(金)に予定しております「歯車会」等クラブより2組の出場を考えておりますので、参加協力をお願い致します。



○会員増強委員長 太田 忍君

- ※先日、荒武会長・吉田会員・林会員と共に長倉さんに会って参りました。入会の返事を頂き、早速次週入会式を行う事になりました。仲間が1名増えることになり、大変嬉しいことです。目標達成に向けて皆様のご協力引き続きお願い致します。



○会長エレクト 村上 實君

- ※「PETS参加報告」
■平成24年3月17日(土)・18日(日) ホテル・レクストン
鹿児島で開催されました2012年度『会長エレクト研修セミナー(PETS)』に参加して参りました。



【第1日目 3月17日(土) 13:00～17:30】

1. 開会、点鐘(13:30～)
2. セッション1(14:20～) 会長の役割と責務
CLPの目的やCLPによるクラブの活性化についても説明が行われた。
3. セッション2(14:50～)
クラブ指導者と地区指導者の協力
・田村智英パスト・ガバナーより①効果的なクラブ委員、

SADOWARA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

- ②地区組織とクラブ組織の整合、③地区指導者チームの活用、④ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）について説明が行われた。
- 4. セッション3（15：30～）会員増強・退会防止
 - ・長峯基ガバナーより「①女性のいないクラブ（現19クラブ）を0にしたい。②加世田クラブの会員を増やしたい。」と会員増強への強い思いについて語られた。
- 5. セッション4（16：00～）
 - 2730地区DLPの改定と地区組織
 - ・深尾兼好次期地区幹事より、新たな地区委員会の機能と役割、CLPの目的と移行手順についてわかりやすい説明が行われた。
- 6. RI研修セッション（16：20～）
- 7. 謝辞・閉会点鐘（17：30～）
 - ・山下皓三ガバナー・エレクトによる謝辞と点鐘で1日目の研修を終えた。
- 8. 懇親会（18：00～）
 - ・約二時間、杯を交わしながら全員が賑やかに懇親を深め、伊藤学而次期地区研修リーダーの閉会の挨拶で懇親会は無事終了した。

【第2日目 3月18日（日）13：00～17：30】

- 1. 開会・オリエンテーション
- 2. セッション5（9：05～）クラブの管理運営
 - ・内村文泰次期地区クラブ管理部門長より、「定款と細則の再検討」、「RI、ロータリー財団、地区への報告義務」、「例会他、会合の計画と実施」について説明が行われた。
- 3. セッション6（9：25～）奉仕プロジェクト
 - ・秦喜八郎地区プログラム委員長・PDGより、「バランスのとれた奉仕プロジェクト」、「RI、ロータリー財団プログラムの活用」について説明が行われた。
- 4. セッション7（9：45～）ロータリー財団
 - ・今林重夫ロータリー財団委員長・PDGより、「補助金の構成」、「寄付金の流れ」について説明が行われた。
 - ・また、ロータリー財団について、数年かけて見直しを実施し、未来の夢計画としてスタートしようとしている旨の説明も行われた。
- 5. セッション8（10：15～）米山奨学事業について
 - ・永田行博次期米山記念奨学部門長より米山記念奨学会の目的と事業内容、特長、成果等について説明が行われ、大きな特徴は、世話クラブ・カウンセラー制度があり、日本最大の民間国際奨学事業であるとの説明があった。
- 6. セッション9（10：35～）公共イメージの認知と拡大
 - ・水居徹次期地区公共イメージ部門長より、従来の広報雑誌IT小委員会の活動をさらに積極的に行い、ロータリーを広く一般の方々にも理解してもらう活動を行うこと、ロータリーの発信する情報の一元化を行うと同時に広報活動を活性化すると、公共イメージ部門の活動について説明が行われた。
- 7. セッション10（10：55～）目標設定
 - ・山下皓三ガバナー・エレクトより、クラブの長期計画の立案と次年度の目標設定について説明が行われた。
- 8. ディスカッション（11：15～）
 - ・分区毎9テーブルに分かれ、ガバナー補佐を座長として事前に記入していた資料をもとに真剣に討論が行われ、その結果をワークシートに記入していった。
- 9. 全体会議・閉会・点鐘（12：00～）
 - ・分区毎に次期ガバナー補佐が順番でワークシートのまとめの発表を行った後、伊藤学而次期地区研修リーダー

- ・PDGより講評が行われた。
- ・山下皓三ガバナー・エレクトから、出席者に対し次年度に向けて期待することが伝えられ、南徹地区大会実行委員長から、DVDを用いて地区大会のPRが行われた。

この様な2日間を64クラブ会長エレクトの皆さんと過ごし、更に次年度へ向けての心構えが整った気が致します。今年度同様皆様のご協力をお願い致します。

出席報告 < 出席委員長 吉田 康一郎 君 >

会員数	22名	メイク届	1名
出席免除	1名（正岡 文郁君）	原田君	
出席者数	16名	無断欠席者	無
欠席者数	6名	出席率	61.9%
有届け者	佐藤君・中武君 村岡君・福井君・正岡君 岩切君		

☆ハッピーBOX披露☆

<ニコニコへ>

※村上 實君～3月結婚記念月～3月14日41回目の結婚記念日でした。お祝いしていただき有難うございました。二人体に気をつけて、これからも頑張っていきたいと思ひます。

会員卓話

●山本 兼裕君

皆様こんにちは、本日2回目の卓話となります。銀行は決算月です。1年間の集大成残り8日間最後の追い上げにて大変忙しい日々を送っております。佐土原支店はまだまだ伸びる地域ということで、目標も大きくなっていきますがとにかく頑張ります。



さて、今日は今般被害の多い「降り込め詐欺」の現状～対策についてお話し致します。

振り込め詐欺の中でも最も多くを占め、平成22年から一転して増加傾向にあるオレオレ詐欺。

最近では、従来のように金融機関を通じて「振り込ませる」ものに加え、犯人がキャッシュカードや現金を直接自宅等に取りに来る「振り込ませない」振り込め詐欺（いわゆる「受取型」の手口）が増加しています。

①キャッシュカード受取型オレオレ詐欺の手口

「キャッシュカード受取型オレオレ詐欺」の典型的な手口の一つに、犯人が警察官になりすますものがあります。

この場合、警察官役のいわゆる「架け子（電話を架ける役）」から電話があり、「あなたの口座が悪用されていることがわかった。新しいキャッシュカードに変更するため、銀行協会の職員があなたの自宅に取りに行くので、キャッシュカードを預けて欲しい。また、手続きに必要なので暗証番号を教えてほしい。」などと言われます。

そして、電話を受けた人はその言葉を信じてしまい、自宅を訪ねてきた銀行協会職員になりすました、いわゆる「受け子（別の受取役の犯人）」にキャッシュカードを渡し、キャッシュカードを受け取った「受け子」自らがコンビニエンスストアや銀行のATM等を操作して現金を引き出したり、あるいは、「受け子」からキャッシュカードを受け取ったいわゆる「出し子（さらに別の引

四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか

MEMO

出役の犯人)」が、同様に、現金を引き出すというものです。

②現金受取型オレオレ詐欺の手口

この手口の場合、たいてい犯人グループは息子や孫をかたり、「携帯電話の番号が変わった」という事前の予兆電話を架けてきます。

多くの場合はその翌日に、「会社のお金を使い込んだ」「株取引で失敗して借金をした」などと嘘の理由を告げた後、「自宅まで取りに行くからお金を用意して。」などと要求し、さらに、「自分は行けなくなったので、会社の同僚を行かせる。」などと言って、「受け子」が現金を自宅等に取りに来るというものです。

この「現金受取型オレオレ詐欺」は、被害者に振り込みをさせず、現金を直接受け取りにくるという点は異なっていますが、途中までは、従来の「振り込め」と全く同じです。

なお、最近の被害状況では、オレオレ詐欺のうち、従来の「振り込め」が半数以上を占めていますが、これらの「受取型」も全体の4割以上を占めており、また、「現金受取型」の手口では、従来の「振り込め」に比べて、1回あたりの被害額が大きくなる傾向にあります。

①金融商品等の取引を口実とした詐欺

電話やダイレクトメール等により、実態のない会社（休眠会社）や上場する予定もない企業があたかも上場間近であるように装い、「上場すれば株価が跳ね上がり必ず儲かる」等と虚偽の情報を提供して未公開株の購入を持ち掛け、現金を口座に振り込ませるなどしてだまし取る詐欺が発生しています。

同様に、社債等の金融商品や、イラクディナール等の外国通貨購入を持ち掛けるなどの資産運用に絡む詐欺が発生しているので注意してください。

②ギャンブル必勝情報提供等を口実にした詐欺

雑誌やインターネットのホームページ等に「パチンコ（パチスロ）攻略法」、「打ち子（出玉PRスタッフ、モニター）募集」等の広告を掲載したり、同内容のメールを送りつけるなどし、これを見て申し込んできた者に対して、もともと存在しないパチンコ攻略法等の虚偽の情報を提供するなどした上で、会員登録料や情報料等の名目で現金を口座に振り込ませてだまし取る詐欺事件が発生しています。

③異性との交際あっせん等を口実にした詐欺

雑誌やインターネットのホームページ等に、「女性紹介」等の広告を掲載したり、同内容のメールを送りつけるなどし、これに応じて女性の紹介等を申し込んできた者に対して、実際に1度だけ女性と会わせたり、「相手の女性が交際を希望している」等の虚偽の情報を提供するなどした上で、会員登録料金や保証金等の名目で現金を口座に振り込ませてだまし取る詐欺が発生しています。

東日本大震災に便乗して、義援金名目で現金等をだましとる詐欺、融資を求めてきた者に対し、事務手数料や保証金等の名目で現金をだましとる手口の詐欺（融資保証金詐欺）等に注意してください。

「被害にあわないための防犯対策」

■ご家族の連絡先を知っていますか？この種の電話を受けたときは、それが事実かどうか確認しなければなりません。

そこで、緊急時の連絡先として、本人の携帯電話番号や勤務先の電話番号、友人の連絡先などを把握しておき、いつでも確実に連絡が取れるようにしておきましょう。

携帯電話の番号が変わったという電話には、元の電話番号にかけ直すようにしましょう。

■電話が繋がらない、連絡先がわからないなどで、連絡が取れない場合には、すぐに警察に相談してください。

■還付金等詐欺に気をつけましょう。

役所を名乗り、ATMを操作させお金を返しすことはありません。「役所」「還付金・給付金」「携帯持ってATM」と電話がかかってきたら警察に相談してください。

事実かどうか、必ず確認しましょう。

電話を受けた方へ

■動揺しない、慌てない。

電話を切ったあと、すぐに事実を確認する気持ちでいてください。

■電話を受けたとき、この話を思い出し、「詐欺かもしれない！」と疑ってみてください。

■警察や銀行などがキャッシュカードを受け取りに行くことは絶対にありえません。

■すぐにお金を振り込まない。

お金を振り込む前に、自分の家族や親戚又は警察に相談してください。

■脅迫めいた言動を受けることもありますが、毅然とした態度で接し、すぐに警察に通報してください。

■不審に思うことや心配に思うことがあれば、すぐに警察に連絡してください。

警視庁の各警察署では、「オレオレ詐欺」等の防犯対策に関し、防犯教室やキャンペーンなどで防犯指導を実施しています。「オレオレ詐欺」がどんなものかイメージしにくい方は、ぜひ、参加してみてください。

振り込め詐欺撃退カード

ご両親・身内の方が「振り込め詐欺」の被害にあわないために

■被害をなくすには、家族や社会が「振り込め詐欺」を許さない環境づくりが大切です。

最近、別居しているご両親や身内の方と話していますか？「そういえば、最近あまり話をしていない。」という方は連絡をとり、近況だけでなく、振り込め詐欺の手口を話していただき、被害にあわないように注意を呼びかけてください。

そのときに「合言葉」を決めたり、「ATM利用限度額の引き下げ」を勧めてください。いざというときに役に立ったり、被害を最小限にすることに効果があります。

合言葉

家族や身近な親戚しか知らない事実

慌てていても簡単に思い出せること

絶対に忘れない言葉、出来事

「慌てて忘れた」、「そんなことより」、「今、それどころではない」等と言って合言葉よりも、自分の言いたいことを優先させるときは、ためらわず電話を切りましょう。それは、十中八九「振り込め詐欺」と考えてよいでしょう。

犯人は、同級生名簿等を入手して、住所や電話番号、家族の名前を知っている可能性があるため、そのような情報だけで信じることをしないように、

結婚記念日・旅行の思い出・好物、嫌いな食べ物

など、学校名簿、会員名簿等に公開していない事実を選びましょう。

「ATM利用限度額の引き下げ」

一日にATMで引き出し、振り替え等の手続きできる金額を引き下げましょう。万が一被害に遭った時、被害額を最小限にすることが出来ます。手続きは金融機関によって異なります。お近くの金融機関にお問合せ下さい。

振り込め詐欺撃退法

振り込め詐欺は、ご両親や身内の方がお子さんやお孫さんを心配する心の隙に入り込み、多額の現金を振り込ませる悪質な犯罪です。

少しでも「なにかおかしい？」と思ったら最寄りの警察に連絡してください。被害にあわれている方のほとんどは、「振り込め詐欺については知っていたが、まさか自分が被害にあうとは思っていなかった。」と話しています。

「携帯電話の番号が変わったから控えておいてよ。」

などと、あらかじめその携帯電話番号を電話で伝えて、後日その電話番号にかけさせる悪質巧妙な手口が増えていきますので、人ごとと思わず、冷静な判断ができるときに、撃退法をご家族で検討してください。

■その1

留守番電話の活用

○常時「留守番電話」にセットしておき、電話がかかってきてもとりあえず「留守番電話」で受けましょう。身内の方と「合言葉」を決め、相手が確認できたら受話器を取りましょう。

○留守番電話のメッセージを吹き込み直すのも効果的です。「ご用件の方はお名前と用件をどうぞ。身内の方は合言葉をどうぞ、確認ができれば電話にはでません。」

～以下割愛します～